

国立淡路青少年交流の家



この施設は、団体宿泊生活を通して自然体験や交流など多様な体験活動の機会を提供し、健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設です。昭和四十四年、全国十三か所にある国立青少年交流の家（当時は青年の家）の一つとして、阿万塩屋町に設置されました。年間十三万人の方が利用しています。鳴門海峡を望む青い海と吹上浜の白い砂、豊かな緑に囲まれた景勝の地にあります。この恵まれた環境を生かして、カタ―体験や野外体験活動

等が行われています。また、同施設の企画事業として、環境教育やボランティア活動、子育て支援などに関する様々な事業も行われています。（一般参加できるセミナーとなっています）十月末には、地元の人にも施設を知ってもらおうと、同施設で、「淡路うずしおフェスティバル2007」が開かれ、約四千二百人が訪れました。地元の人や小中学生の文化・芸能発表、スポーツ大会など、多彩な催しが行われました。（13頁に大会結果）



▲10月に行われた「淡路うずしおフェスティバル2007」

吹上浜など豊かな自然環境の中にある国立淡路青少年交流の家

ぼくとわたしの
ギャラリー

MOA美術館 淡路児童作品展



兵庫県教育長賞 榎本和真さん（神代小3年）



ひがしうら文化館館長賞 南凱斗さん（賀集小3年）



実行委員長賞 居内龍也さん（八木小1年）

開会行事に続く催しでは、「玉三で知ろう、淡路人形の心」と題して、だんじり唄（淡路だんじり唄振興会）と人形浄瑠璃（淡路人形座）による「玉藻前 曠袂三段目道春館の段（玉三）」が熱演されました。物語に流れる人間味豊かな思いやり・情愛の極地に、館内は感動と陶酔に包まれ、参加者は改めて伝統芸能「淡路人形浄瑠璃」の

保存・継承の必要性を感されたようでした。当クラブは、淡路人形浄瑠璃を市民の皆様の熱意と力で支えるNPO法人です。あなた様の御加入をお待ちしています。お尋ねは同サポートクラブ事務室へ（☎50・23080）

- 淡路人形芝居サポートクラブ
- ◆理事長 森 紘一
 - ◆会員 616名（19年3月末）
 - ◆平成14年1月よりNPO法人

わかまち
元気

伝統芸能 淡路人形浄瑠璃 保存への思いは熱く！

淡路人形芝居サポートクラブ



▲サポートクラブ10周年記念公演